

<平成30年度>

# 水道部 部課長方針



水道部長 渡辺 靖夫

業務課長

尾上 聡

維持管理課長

斎藤 純一

# 平成30年度 部長方針

部	水道部	部長	渡辺 靖夫
---	-----	----	-------

## 部の運営方針

### 1. 業務遂行にあたっての基本的スタンス

『将来にわたって、市民に安心・安全な水を安定的に、適正な料金でお届けする』という経営理念の下、「安心して飲めるおいしい水道」・「いつでも安定して使える水道」・「要來にわたって健全な水道」・「環境にやさしい水道」の四項目の基本方針に基づき、重要なライフラインである「水道水」の供給に努める。

- ・すべての市民が安心して飲め、快適な暮らしを支えることができる水道事業を目指す(安心)。
- ・いつでも、どこでも安定的に水道水を確保することができ、かつ災害にも強い水道事業を目指す(安定)。
- ・将来にわたって、水道水の供給を続けることができる健全な水道事業を目指す(持続)。
- ・水道水を作るために、自然の水資源や、多大な電力を使用していることを踏まえて、環境に配慮した水道事業を目指す(環境)。

### 2. 重点的に取り組む事業とその目標

- ・平成29年度に策定した、「蕨市水道ビジョン(後期計画)」を着実に実行することによって、経営理念及び基本方針の実現を目指す。
- ・市民の要望が高い、「災害時の飲料水確保」を実現するために、管路の耐震化を推進し、災害時における被害の低減及び復旧の迅速化を図る。

### 3. 部員に求める必要な心構え

- ・各人が徹底したコスト感覚を持ち、最小の費用で最大の効果を上げるよう努める。
- ・災害時を想定した危機管理を念頭に置き、日々の職務に精励する。
- ・現状に満足せず、絶えず改善・改革の目を持って業務に当たり、重要な事業の進捗には、タイムスケジュール管理を徹底し、各課内で十分な打ち合わせを行う。
- ・安心・安全な水道水の供給と親切・丁寧な質の高いサービスの提供により、市民の信頼にこたえる。

## 平成30年度 課長方針

部課	水道部 業務課	課長	尾上 聡
----	---------	----	------

### 課の運営方針

- ・蕨市水道ビジョンの内容をしっかりと理解し、行動計画の遂行に務める。
- ・課員が担当業務以外の知識を習得し、非常時にも業務が滞ることなく執行できるよう努める。
- ・公営企業に従事する職員として、常に水道事業経営を意識し業務を執り行う。
- ・法令順守と業務効率化を推進していく。

### 主要事業

事業名	事業内容	目標
「経営戦略」に基づく健全経営の継続	「経営戦略」に基づく健全経営の継続	経常収支比率100%以上とする。
料金徴収業務委託先更新の事前準備	料金徴収業務委託事業者選定の実施	平成31年度から3年間の業務委託事業者の選定をプロポーザル方式により実施する。
企業会計システム更新業務の事前準備	企業会計システム更新事業者選定の実施	平成32年度会計から新システムでの運用ができるように事業者の選定ををプロポーザル方式により実施する。

## 平成30年度 課長方針

部課	水道部 維持管理課	課長	齋藤 純一
----	-----------	----	-------

### 課の運営方針

- ・引き続き、安心、安全な水道水を安定的に供給する。
- ・水道ビジョン等の計画を確実に推進する。
- ・事業完了時には検証を行い、その結果を次回計画に反映させる。

### 主要事業

事業名	事業内容	目標
基幹管路整備事業	基幹配管路の新設及び既存管路の耐震化を図る。	更なる安定給水を図るため、基幹管路を整備する。 布設予定延長＝264m 布施替予定延長＝35m 耐震化工事予定延長＝254m
経年管更新事業	老朽化した配水管を耐震性を備えた配水管に布施替える。	老朽化した配水管を耐震性がある管に整備することで、安定給水を図る。 布施替予定延長＝803m
鉛製給水管取替工事助成金事業	宅地内に残存する鉛製給水管解消のため、助成金を交付する。	宅地内に残存する鉛製給水管の解消を目標とする。
災害時における危機管理事業	業務継続計画に基づく訓練を実施する。	定期的な訓練を実施することで、被災時に迅速に行動可能にする。